

2021. 6. 1

稲は順調に生育、初夏のさわやかな風が谷津を渡ります。ヨシ原から、今年もまたオオヨシキリの元気な声が聞こえてきます。コロナ禍の日々ですが、ホトトギスにウグイス♪♪、チョウやトンボ、カエル・・・里山を彩る涼しげな花々、いつもながらの光景に心が癒されます。



キタテハ



ミドリヒョウモン

チョウ・トンボ・カエル・・・  
命が生まれ、生きものが  
にぎわう初夏の里山



ノシメトンボ



ツマグロヒョウモン



ヒカゲチョウ



ベニシジミ



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



キアゲハ幼虫



ルリタテハ幼虫



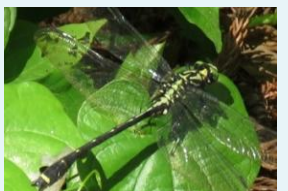
シュレーゲルアオガエル



アマガエル



アキアカネ



ヤマサナエ

白、ピンク、むらさき・・・  
初夏の風に揺れる花



ホタルブクロ



オカトラノオ



ヌマトラノオ



ハエドクソウ



オオカモメツル



チダケザシ



ネムノキ



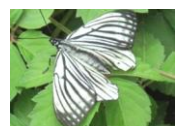
ムラサキシキブ



ドクダミ

＜季節メモ＞ アカボシゴマダラ

最近は普通に目にするようになった「アカボシゴマダラ」外来種のチョウで要注意外来生物に指定されています。食樹は「エノキ」、在来種のオオムラサキやゴマダラチョウと生活圏が同じことから、競合それとも共存しているのでしょうか？オオムラサキは年1回、ゴマダラチョウは年2回、アカボシゴマダラは何と年3回羽化します。写真は春型の白いアカボシゴマダラです。チョウに責任はないけれど、現在は放蝶されたものが野生化したと言われてい



ます。穏やかな里山にも外来種がたくさん入り込んできています。油断できないですね。

写真・編集：晝間